

# 小売業

## 1. 評価対象企業（20社）

ローソン、エービーシー・マート、J. フロント リテイリング、スタートトゥデイ、三越伊勢丹ホールディングス、セブン&アイ・ホールディングス、ツルハホールディングス（新規）、良品計画、ドンキホーテホールディングス、スギホールディングス、ユニー・ファミリーマートホールディングス、しまむら、高島屋、丸井グループ、イオン、ケーズホールディングス、ヤマダ電機、ニトリホールディングス、ファーストリテイリング、サンドラッグ

（証券コード協議会銘柄コード順）

## 2. 評価方法

### (1) 評価基準（スコアシート）の構成および配点

| 評価分野                            | 下記本文中の略称       | 評価項目数 | 配点  |
|---------------------------------|----------------|-------|-----|
| ①経営陣の IR 姿勢、IR 部門の機能、IR の基本スタンス | 経営陣の IR 姿勢等    | 4     | 29  |
| ②説明会、インタビュー、説明資料等における開示         | 説明会等           | 8     | 28  |
| ③フェア・ディスクロージャー                  | フェア・ディスクロージャー  | 4     | 16  |
| ④コーポレート・ガバナンスに関連する情報の開示         | コーポレート・ガバナンス関連 | 4     | 20  |
| ⑤各業種の状況に即した自主的な情報開示             | 自主的情報開示        | 2     | 7   |
| 計                               |                | 22    | 100 |

（注）評価項目の内容および配点は 98 頁参照

### (2) 評価実施（スコアシート記入）アナリストは 29 名（24 社）である。（99 頁参照）

## 3. 評価結果

### (1) 総括（「ディスクロージャー評価比較総括表」（97 頁）参照）

- ① 本年度は、**経営陣の IR 姿勢等**において新設 1 項目、内容変更 1 項目、**説明会等**において内容変更 1 項目・項目統合（4 項目から 2 項目に、統合により配点も変更）、**フェア・ディスクロージャー**において新設 1 項目、配点変更 2 項目（うち 1 項目は内容も変更）、**コーポレート・ガバナンス関連**において内容変更 1 項目、**自主的情報開示**において内容・配点変更 1 項目、削除 1 項目を行い、評価を実施した。このため、昨年度と同列には比較できないが、本年度の総合評価点は 76.8 点（昨年度 73.1 点）となった。また、総合評価点の標準偏差は 8.7 点（昨年度 9.3 点）であった。
- ② 業態別の総合評価平均点は、高得点順に、百貨店（4 社：J. フロント リテイリング、三越伊勢丹ホールディングス、高島屋、丸井グループ）：79.7 点（昨年度 79.4 点）、総合小売・コンビニエンスストア（4 社：セブン&アイ・ホールディングス、ユニー・ファミリーマートホールディングス、イオン、ローソン）：77.5 点（昨年度 76.2 点）、専門店（11 社：エービーシー・マート、ツルハホールディングス、良品計画、ドンキホーテホールディングス、スギホールディングス、しまむら、ケーズホールディングス、ヤマダ電機、ニトリホールディングス、ファーストリテイリング、サンドラッグ）：75.6 点（昨年度 70.8 点）、ネット通販（1 社：スタ

ートトゥデイ)：74.8点(昨年度69.2点)となった。各業態とも昨年度の評価点を上回り、しかも、下位の業態の評価点が上昇したことから、業態間の差は縮小した。

③ 5つの評価分野毎に平均得点率(評価対象企業の平均点/配点(以下省略))を見ると、**経営陣のIR姿勢等**が76%(昨年度73%)、**説明会等**が79%(昨年度74%)、**フェア・ディスクロージャー**が82%(昨年度79%)、**コーポレート・ガバナンス関連**が73%(昨年度71%)、**自主的情報開示**が68%(昨年度同率)となり、**自主的情報開示**を除く4分野は昨年度を上回った。

④ 評価項目について見ると、平均得点率80%以上の評価項目が**説明会等**および**フェア・ディスクロージャー**の分野の10項目(昨年度9項目)となり、特に次の4項目については、20社中17社以上が得点率(評価点/配点<以下省略>)80%以上の高い水準の評価となった。

(a) 「経営トップが決算説明会等において経営方針等を十分に説明していますか」(平均得点率88%、得点率：100%1社・90%台11社・80%台5社)

(b) 「月次の売上状況および次期見通しは、十分に記載されていますか」(平均得点率88%、得点率：100%4社・90%台11社・80%台2社)

(c) 「経営陣が情報開示につき、投資判断や株式保有状況等にかかわらず、公平な機会を与えることに十分な注意を払っていますか」(平均得点率87%、得点率：90%台11社・80%台7社)

(d) 「投資家にとって重要と判断される事項が発生した場合、迅速かつ公平に十分な説明を行っていますか」(平均得点率85%、得点率：90%台6社・80%台12社)

⑤ なお、「経営トップがディスクロージャー制度の変更の精神を十分に理解し、適時・適切な開示の後退に繋がることがないようIR活動を行っていますか」と質問を新設したところ、平均得点率は76%、得点率は90%台1社・80%台8社・70%台6社・60%台3社・50%台1社・30%台1社となった。この項目で得点率が低位の企業については今後の改善が望まれる。

⑥ また、昨年度の評価項目「決算説明会資料や月次のデータが、ホーム・ページでも入手可能ですか」という評価項目につき、今回その質問に「迅速・公平」を追加し、「決算説明会等の内容を迅速かつ公平にホーム・ページに掲載していますか」と質問を変更し、配点も3点から5点に変更したところ、平均得点率では83%から77%(6ポイント低下)となり、得点率でも2社を除き各社とも低下した。該当する各社において改善が望まれる。

⑦ 一方、次の2項目については、昨年度より平均得点率がアップしたものの、全体的に得点率が低い。これらの項目で得点率が低位の企業については今後の改善が望まれる。

(a) 「店舗や商品展示の見学会を積極的に実施していますか」(平均得点率60%、得点率：30%台4社・40%台4社・50%台1社)

(b) 「IR部門以外のセクションへのインタビュー等について積極的に対応していますか」(平均得点率61%、得点率：40%台5社・50%台4社)

## (2) 上位3企業の評価概要

### 第1位 J. フロント リテイリング (ディスクロージャー優良企業 [初受賞]、総合評価点 88.8点 [昨年度比 +6.4点]、昨年度同得点第4位)

① 同社は、**フェア・ディスクロージャー**(得点率<以下省略>92%)、**コーポレート・ガバナンス関連**(93%)が第1位、**経営陣のIR姿勢等**が第2位(89%)、**自主的情報開示**が同得点第4位(83%)、**説明会等**が第5位(85%)となり、全ての評価分野の得点率が昨年度を上回った。なお、全評価項目中、昨年度と比較可能な20項目のうち16項目の得点率が改善し、総合評価点および順位の上昇(総合評価点の上昇幅は同点第3位、順位の上昇幅は第2位)につながった。

② **経営陣のIR姿勢等**においては、経営トップがディスクロージャー制度の変更の精神を十分に理解し、適時適切な開示の後退につながることをないようIR活動を行っていることが高く評価されたほか、IR部門に十分な情報がタイムリーに集積されており、有益なディスカッションができることや、同部門へのアクセスの容易性など、IR部門の機能も評価された。さらに、ディスクロージャー・IR全体を通じて企業理念・中長期ビジョン

を含め、アナリストや投資家のニーズを十分理解した上で、適切なレベルの情報開示を維持または改善しているなど、IRの基本スタンスも高く評価された。

- ③ **説明会等**においては、説明資料に主要セグメント別の売上高・営業利益・設備投資額、商品部門別の売上高内訳などについても十分に記載されていることや、次期の事業計画が十分に記載されているほか、セグメント分類やIFRSの導入をはじめ会計方針等の制度変更が生じた場合、過去の数値と比較できるような情報の開示が十分に行われているなど、説明資料等における開示が高い評価となった。さらに、四半期の動向を理解するために必要な基本的な情報が開示されていることも評価された。
- ④ **フェア・ディスクロージャー**においては、経営陣がメディアを含む総合的な情報開示につき、不公平や混乱が生じないように配慮していることなど、フェア・ディスクロージャーへの取組姿勢が高く評価された。また、決算説明会等の内容を迅速かつ公平にホームページに掲載するなど、ホームページにおける情報提供も評価された。さらに、英文による情報提供が充実している点も評価された。
- ⑤ **コーポレート・ガバナンス関連**においては、コーポレートガバナンス・コードの各項目について、その精神を理解し、進捗状況を含め説明内容が充実している点や、ガバナンスに対する経営陣の理解度が特筆に値するなど、コーポレートガバナンス・コードが高く評価された。また、目標とする経営指標、採用理由、目標達成の取り組み等について十分説明しているなど、目標とする経営指標等も高く評価された。さらに、資本政策について客観的かつ合理的に説明していることや、配当政策・自社株買い等株主還元策について、客観的かつ合理的に説明していることなど、資本政策、株主還元策の開示も評価された。
- ⑥ **自主的情報開示**においては、統合報告書、ファクトブック等の内容が充実している点が評価された。

これら同社の努力と姿勢は、ディスクロージャーのさらなる進展のために他の企業の模範となると認められるので、同社を本年度の当業種における優良企業として選定した。

## **第2位 ドンキホーテホールディングス（総合評価点 87.9点〔昨年度比+5.5点〕、昨年度同得点第4位）**

- ① 同社は、**経営陣のIR姿勢等**（90%）、**説明会等**（90%）が第1位、**フェア・ディスクロージャー**（89%）、**自主的情報開示**（86%）が第2位、**コーポレート・ガバナンス関連**が第5位（82%）となり、全ての評価分野の得点率が昨年度を上回った。なお、全評価項目中、昨年度と比較可能な20項目のうち15項目の得点率が改善し、総合評価点および順位の上昇につながった。
- ② **経営陣のIR姿勢等**においては、経営トップがディスクロージャー制度の変更の精神を十分に理解し、適時適切な開示の後退につながることはないようIR活動を行っていることが高く評価されたほか、IR部門に十分な情報がタイムリーに集積されており、有益なディスカッションができることや、IR部門へのアクセスが容易であるなど、IR部門の機能も高く評価された。さらに、ディスクロージャー・IR全体を通じて企業理念・中長期ビジョンを含め、アナリストや投資家のニーズを十分理解した上で、適切なレベルの情報開示を維持または改善しているなど、IRの基本スタンスも高く評価された。
- ③ **説明会等**においては、「IR部門以外のセクションへのインタビュー等について積極的に対応していますか」という評価項目につき、低得点率の企業が多い中、他社と差のあるトップの評価を受けた。また、説明資料に主要セグメント別の売上高・営業利益、地域別・商品部門別等の売上高内訳が十分に記載されている点についても高い評価となった。さらに、四半期ごとに決算説明会を開催していることも評価された。
- ④ **フェア・ディスクロージャー**においては、フェア・ディスクロージャーへの取組姿勢が高く評価された。また、決算説明会等の内容を迅速かつ公平にホームページに掲載しているなど、ホームページにおける情報提供も評価された。
- ⑤ **自主的情報開示**においては、店舗見学、IR Dayの積極的な実施が評価された。

## **第3位 セブン&アイ・ホールディングス（ディスクロージャーの改善が著しい企業、総合評価点 87.0点〔昨年度比+9.1点〕、昨年度第7位）**

- ① 同社は、**自主的情報開示**が第1位（87%）、**経営陣のIR姿勢等**（88%）、**コーポレート・ガバナンス関連**（86%）が第3位、**フェア・ディスクロージャー**が同得点第3位（89%）、**説明会等**が第4位（86%）となり、4つの評価分野の得点率が昨年度を上回った。なお、全評価項目中、昨年度と比較可能な20項目のうち15項目の得点率が改善し、総合評価点および順位の上昇（総合評価点の上昇幅は第2位、順位の上昇幅は第1位）につなが

った。

- ② **経営陣の IR 姿勢等**においては、経営陣が直接対話の機会を増やすなど改善が見られたことに加え、IR 部門に十分な情報がタイムリーに集積されており、有益なディスカッションができることや、同部門へのアクセスが容易であるなど、同部門の機能が評価された。また、ディスクロージャー・IR 全体を通じて企業理念・中期ビジョンを含め、アナリストや投資家のニーズを十分理解した上で、適切なレベルの情報開示を維持または改善しているなど、IR の基本スタンスも高く評価された。
- ③ **説明会等**においては、説明資料に次期の事業計画が十分に記載されていることのほか、セグメント分類変更後も変更前と変更後の数値を併記し、過去の数値と比較できるような情報の開示が十分に行われているなど、補足資料の内容が改善しており、高い評価となった。また、四半期ごとに決算説明会を開催し、四半期の動向を理解するために必要な基本的な情報が開示されていることも評価された。
- ④ **フェア・ディスクロージャー**においては、経営陣がメディアを含む総合的な情報開示につき、不公平や混乱が生じないようにしているなど、フェア・ディスクロージャーへの取組姿勢が高く評価された。また、決算説明会等の内容を迅速かつ公平にホーム・ページに掲載しているなど、ホーム・ページにおける情報提供も評価された。さらに、英文による情報提供が充実している点も評価された。
- ⑤ **コーポレート・ガバナンス関連**においては、コーポレートガバナンス・コードの各項目について、「当社の言葉」で説明する「コーポレートガバナンス・レポート」が分かりやすく、評価された。また、目標とする経営指標、採用理由、目標達成の取り組み等について十分説明しているなど、目標とする経営指標等も高く評価された。さらに、資本政策について客観的かつ合理的に説明していることや、配当政策・自社株買い等株主還元策について、客観的かつ合理的に説明しているなど、資本政策、株主還元策の開示が評価された。
- ⑥ **自主的情報開示**においては、「商品展示会」での商品戦略説明が評価されたほか、「統合レポート」、「コーポレートアウトライン」が分かりやすいことにより、トップの評価となった。

同社はこのようにディスクロージャーの改善が著しいので、「ディスクロージャーの改善が著しい企業」に選定した。

### (3) 上記以外の企業についての特記事項

#### ○ ツルハホールディングス（総合評価点 81.2 点〔本年度新規〕、第 8 位）

同社は、説明会等の評価分野において、平均得点率 79%を大きく上回る得点率 87%の高い評価となるなど、全ての評価分野において平均得点率を上回る得点率となり、ドラッグストア評価対象企業 3 社の中でトップとなった。

#### ○ ファーストリテイリング（総合評価点 76.3 点〔昨年度比+6.4 点〕、第 12 位〔昨年度第 13 位〕）

同社は、4 つの評価分野の得点率が昨年度を上回り、評価項目においても、昨年度と比較可能な 20 項目のうち 14 項目の得点率が改善した結果、総合評価点が上昇（上昇幅同点第 3 位）し、順位も上昇した。

#### ○ ニトリホールディングス（総合評価点 72.0 点〔昨年度比+11.2 点〕、第 15 位〔昨年度第 17 位〕）

同社は、全ての評価分野の得点率が昨年度を上回り、評価項目においても、昨年度と比較可能な 20 項目のうち 18 項目の得点率が改善した結果、総合評価点が上昇（上昇幅第 1 位）し、順位も上昇した。

以 上

平成29年度 ディスクロージャー評価比較総括表 (小売業)

(単位:点)

| 順位 | 評価項目<br>評価対象企業              | 総合評価<br>(100点) | 1. 経営陣のIR姿勢、<br>IR部門の機能、IR<br>の基本スタンス<br>評価項目4<br>(配点29点) |    | 2. 説明会、インタビュー、<br>説明資料等における<br>開示<br>評価項目8<br>(配点28点) |    | 3. フェア・ディスク<br>ロージャー<br>評価項目4<br>(配点16点) |    | 4. コーポレート・ガバナ<br>ンスに関連する情報<br>の開示<br>評価項目4<br>(配点20点) |    | 5. 各種の状況に即した<br>自主的な情報開示<br>評価項目2<br>(配点7点) |    | 前<br>回<br>順<br>位 |
|----|-----------------------------|----------------|---|----|---|----|--|----|---|----|---|----|------------------|
|    |                             |                | 評価点   | 順位 | 評価点   | 順位 | 評価点                                      | 順位 | 評価点   | 順位 | 評価点   | 順位 |                  |
| 1  | (3086) J. フロントリアイリング        | 88.8           | 25.9  | 2  | 23.9  | 5  | 14.7                                     | 1  | 18.5  | 1  | 5.8   | 4  | 4                |
| 2  | (7532) トンキホーテホールディングス       | 87.9           | 26.2  | 1  | 25.1  | 1  | 14.3                                     | 2  | 16.3  | 5  | 6.0   | 2  | 4                |
| 3  | (3382) セブン&アイホールディングス       | 87.0           | 25.5  | 3  | 24.0  | 4  | 14.2                                     | 3  | 17.2  | 3  | 6.1   | 1  | 7                |
| 4  | (7453) 良品計画                 | 85.5           | 25.0  | 4  | 23.6  | 6  | 13.7                                     | 8  | 17.4  | 2  | 5.8   | 4  | 3                |
| 5  | (2651) ローソン                 | 83.9           | 24.3  | 5  | 24.1  | 3  | 14.0                                     | 5  | 15.6  | 7  | 5.9   | 3  | 2                |
| 6  | (8028) ユニバーファミリーマートホールディングス | 82.9           | 24.1  | 6  | 22.8  | 10 | 14.2                                     | 3  | 16.0  | 6  | 5.8   | 4  | 6                |
| 7  | (8252) 丸井グループ               | 82.1           | 23.6  | 7  | 22.4  | 12 | 13.5                                     | 9  | 17.1  | 4  | 5.5   | 8  | 1                |
| 8  | (3391) ツルハホールディングス          | 81.2           | 23.6  | 7  | 24.4  | 2  | 13.2                                     | 11 | 15.0  | 9  | 5.0   | 9  | 未実施              |
| 9  | (8282) ケーズホールディングス          | 77.4           | 23.1  | 10 | 23.2  | 7  | 12.7                                     | 13 | 14.3  | 13 | 4.1   | 15 | 10               |
| 10 | (8233) 高島屋                  | 77.0           | 22.4  | 11 | 22.3  | 13 | 14.0                                     | 5  | 13.9  | 14 | 4.4   | 12 | 11               |
| 11 | (9989) サンドラッグ               | 76.7           | 23.6  | 7  | 22.9  | 9  | 11.7                                     | 19 | 14.7  | 11 | 3.8   | 16 | 12               |
| 12 | (9983) フェーストリテイリング          | 76.3           | 21.2  | 14 | 21.2  | 15 | 13.4                                     | 10 | 14.9  | 10 | 5.6   | 7  | 13               |
| 13 | (3092) スタートトゥデイ             | 74.8           | 21.8  | 12 | 20.0  | 18 | 13.9                                     | 7  | 15.6  | 7  | 3.5   | 18 | 14               |
| 14 | (7649) スギホールディングス           | 73.5           | 20.9  | 15 | 23.0  | 8  | 12.8                                     | 12 | 12.4  | 16 | 4.4   | 12 | 9                |
| 15 | (9843) ニトリホールディングス          | 72.0           | 18.0  | 18 | 22.5  | 11 | 12.1                                     | 17 | 14.6  | 12 | 4.8   | 10 | 17               |
| 16 | (8227) しまむら                 | 71.0           | 21.5  | 13 | 21.9  | 14 | 12.3                                     | 15 | 11.6  | 19 | 3.7   | 17 | 15               |
| 17 | (3099) 三越伊勢丹ホールディングス        | 70.6           | 20.2  | 16 | 21.0  | 17 | 12.6                                     | 14 | 12.1  | 17 | 4.7   | 11 | 8                |
| 18 | (2670) エービーシー・マート           | 68.1           | 20.2  | 16 | 21.1  | 16 | 11.8                                     | 18 | 11.7  | 18 | 3.3   | 19 | 16               |
| 19 | (9831) ヤマダ電機                | 61.5           | 16.5  | 19 | 18.1  | 19 | 10.5                                     | 20 | 13.1  | 15 | 3.3   | 19 | 19               |
| 20 | (8267) イオン                  | 56.3           | 13.8  | 20 | 15.9  | 20 | 12.3                                     | 15 | 10.1  | 20 | 4.2   | 14 | 18               |
|    | 評価対象企業評価平均点                 | 76.78          | 22.08   |    | 22.19   |    | 13.10                                    |    | 14.62   |    | 4.79  |    |                  |

(注) 評価対象企業各社の総合評価点の標準偏差は、本年度は8.7点(昨年度9.3点)であった。

## 29年度評価項目および配点（小売業）

|  |  |             |
|--|--|-------------|
| <b>1. 経営陣のIR姿勢、IR部門の機能、IRの基本スタンス</b>   |  | 配点<br>(29点) |
| <b>(1) 経営陣のIR姿勢</b>  |  |             |
| ・ 経営トップがディスクロージャー制度の変更の精神を十分に理解し、適時・適切な開示の後退に繋がることがない様、IR活動を行っていますか。   |  | 11          |
| <b>(2) IR部門の機能</b>   |  |             |
| ① IR部門に、グループ会社を含む十分な情報がタイムリーに集積されており、有益なディスカッションができますか。  |  | 6           |
| ② IR部門へのアクセスの容易性はどうか。  |  | 6           |
| <b>(3) IRの基本スタンス</b>   |  |             |
| ・ 当該企業のディスクロージャー・IR全体を通じて、企業理念・中長期ビジョンを含め、アナリストや投資家のニーズを十分理解した上で、適切なレベルの情報開示を維持または改善していますか。  |  | 6           |
| <b>2. 説明会、インタビュー、説明資料等における開示</b>   |  | 配点<br>(28点) |
| <b>(1) 説明会、インタビューにおける開示</b>  |  |             |
| ① 経営トップが決算説明会等において経営方針等を十分に説明していますか。   |  | 3           |
| ② IR部門以外のセクション（店舗、物流センター、海外拠点等）へのインタビュー等について積極的に対応していますか。  |  | 5           |
| ③ 投資家にとって重要と判断される事項（例えば、業績変動、合併・提携等）が発生した場合、迅速かつ公平に十分な説明を行っていますか。  |  | 3           |
| <b>(2) 説明資料等（短信およびその付属資料を含む）における開示<br/>〔以下①-④については、持株会社の場合、主要事業会社についての記載を評価する〕</b>   |  |             |
| ① 主要セグメント別の売上高、営業利益、資産、設備投資額、減価償却費について、十分に記載されていますか。また、地域別、商品部門別（含む粗利益率）、顧客別等の売上高内訳や固定資産・在庫・のれん等の資産評価にかかわる特別な損益についても、十分に記載されていますか。 |  | 3           |
| ② 次期の事業計画（営業利益、売上利益率、設備投資額、減価償却費、販管費の内訳、出退店等）は、十分に記載されていますか。   |  | 3           |
| ③ 月次の売上状況（既存店・全店増収率、部門別増収率、客数、客単価等）および次期見通しは、十分に記載されていますか。   |  | 2           |
| ④ セグメント分類やIFRSの導入をはじめ会計方針等の制度変更が生じた場合、過去の数値と比較ができるような情報の開示が十分に行われていますか。  |  | 3           |
| <b>(3) 四半期情報開示</b>   |  |             |
| ・ 四半期の動向を理解するために必要な基本的な情報が開示されていますか。   |  | 6           |
| <b>3. フェア・ディスクロージャー</b>  |  | 配点<br>(16点) |
| <b>(1) フェア・ディスクロージャーへの取組姿勢</b>   |  |             |
| ① 経営陣がメディアを含む総合的な情報開示につき、不公平や混乱が生じないようにしていますか。   |  | 4           |
| ② 経営陣が情報開示につき、投資判断や株式保有状況等にかかわらず、公平な機会を与えることに十分な注意を払っていますか。  |  | 4           |
| <b>(2) ホーム・ページにおける情報提供</b>   |  |             |
| ・ 決算説明会等の内容（注）を迅速かつ公平にホーム・ページに掲載していますか。<br>（注）質疑応答を含めて評価してください。  |  | 5           |
| <b>(3) 外国人投資家向け情報提供</b>  |  |             |
| ・ 英文による情報提供は充実していますか。  |  | 3           |
| <b>4. コーポレート・ガバナンスに関連する情報の開示</b>   |  | 配点<br>(20点) |
| <b>(1) コーポレートガバナンス・コード</b>   |  |             |
| ・ コーポレートガバナンス・コードの各項目について、その精神を理解し、進捗状況を含め十分な説明がなされていますか。  |  | 8           |
| <b>(2) 目標とする経営指標等</b>  |  |             |
| ・ 目標とする経営指標、それを採用する理由、目標達成のための取り組み等について、十分説明されていますか。   |  | 5           |
| <b>(3) 資本政策、株主還元策の開示</b>   |  |             |
| ① 資本政策（資金調達、グループ持合政策、優先株）について、客観的かつ合理的に説明されていますか。  |  | 3           |
| ② 配当政策・自社株買い等株主還元策について、客観的かつ合理的に説明されていますか。   |  | 4           |
| <b>5. 各業種の状況に即した自主的な情報開示</b>   |  | 配点<br>(7点)  |
| ① 店舗や商品展示の見学会を積極的に実施していますか。<br>〔過去1年間を目安に評価〕   |  | 2           |
| ② 統合報告書、ファクトブック、その他これらに準ずるものの内容は充実していますか。  |  | 5           |

小売業専門部会委員

|       |        |                     |
|-------|--------|---------------------|
| 部会長   | 小場 啓司  | 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 |
| 部会長代理 | 高橋 俊雄  | みずほ証券               |
|       | 風早 隆弘  | トイ証券                |
|       | 金森 都   | SMBC 日興証券           |
|       | 仲西 恭子  | アセットマネジメント One      |
|       | 花井 由紀子 | 日興アセットマネジメント        |
|       | 村田 大郎  | JP モルガン証券           |

評価実施アナリスト（29名）

|        |                     |        |                      |
|--------|---------------------|--------|----------------------|
| 有沢 正一  | 岩井コス証券              | 宝田 めぐみ | 東洋証券                 |
| 五十崎 義将 | 東京海上アセットマネジメント      | 武久 緩美  | JP モルガン・アセット・マネジメント  |
| 伊藤 彰洋  | 三井住友アセットマネジメント      | 田村 真一  | 極東証券経済研究所            |
| 岩佐 慎介  | みずほ証券               | 津田 和徳  | 大和証券                 |
| 風早 隆弘  | トイ証券                | 永田 和子  | QUICK                |
| 金森 淳一  | 岡三証券                | 仲西 恭子  | アセットマネジメント One       |
| 川原 潤   | 大和証券                | 納 博司   | いちよし経済研究所            |
| 高 英詞   | 野村アセットマネジメント        | 花井 由紀子 | 日興アセットマネジメント         |
| 小場 啓司  | 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 | 堀内 敏成  | QUICK                |
| 権藤 貴志  | 農林中金全共連アセットマネジメント   | 牟田 知倫  | 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント |
| 近藤 将人  | 三井住友信託銀行            | 村田 大郎  | JP モルガン証券            |
| 篠崎 真紀  | モルガン・スタンレー MUFG 証券  | 守屋 のぞみ | UBS 証券               |
| 正田 雅史  | 野村證券                | 安岡 智史  | 三井住友信託銀行             |
| 高田 訓弘  | 三菱 UFJ 国際投信         | 柳平 孝   | いちよし経済研究所            |
| 高橋 俊雄  | みずほ証券               |        |                      |

(注) 上記各アナリストの評価実施企業は、各人それぞれ異なることに留意。